



HE IS RISEN! HE IS RISEN INDEED!

主はよみがえられました！

確かに主はよみがえられました！

【先週のメッセージより】死は終わりでない／十字架と空の墓

●ウサギと卵は、イエス・キリストの復活のストーリーとおおよそ関係がなく、長いキリスト教会の歴史の中でつけ加えられたものである。諸説ある起源については百科事典で調べれば分るのでそれは各人に任せ、イースター礼拝ではウサギと卵を用いてイースターのメイン・メッセージを示した。



●ウサギは片方の耳を伸ばして直角に曲げて耳で「十字架」を作った。十字架は神の御子が世界中の人々の罪を背負って身代わりとなって罰を受け、死なれた場所である。町に行く時、十字架を見上げ、神がイエスを通して私たちの罪を赦して下さったことを思い起こそう。



●卵は割って見ると実は中が空洞の復活のストーリーとおおよそ関係であった。空の殻で「空の墓」というメッセージを示した。イースターの大ニュースは十字架にかかり、死なれたイエスが墓の中におられず、よみがえられたということである。つまり、死は終わりでないのである。復活は罪を悔改めて、イエスを信じる者たちに与えられる「永遠のいのち」の証拠であることを覚えよう。

●神は人間が一人として、神に背を向けたまま滅んでいくのを望んでおられない。だからこそ救いの道をすべての人に提供するため御子イエスを人として地上に送られたのである。人はただ信じて受け入れさえすれば救われることができるのである。■

【今週の暗唱聖句】 ヨハネ20：27

信じない者にならないで、信じる者になりなさい。

●自分の側に非がなく、一方的に誤解をされているような状況には辛いものがある。サタンはアダムとエバを唆し成功した日から、人間は神に対する不信感を持って生きている。人間に信じてもらえない神の気持ちを考えて見よう。このイエスの言葉が見えて来る。■

【人間関係／赦しに生きる（1）】

十字架上で自分の罪が裁かれ、神から赦しを与えられたことを確信し明確にイエスに従う決意をした者、平たく言えば「本当に救われている者」にとって、赦しに生きることは避けることのできない、必須科目である。クリスチャンと自称しながら「絶対に赦さない」と言い、それで平気な人がいたら、その人は聖書が言う「魂の救い」は得ていないと言っている。なぜなら救われて聖霊が働いているクリスチャンは「他の人を赦していない」なら、苦しくてたまらなくなるはずだからである。勿論、赦せるようになるまで時間とプロセスが必要である。特に夫婦や親子間で受けた深い傷などの場合はそうである。しかし赦しは命令であり、イエスへの従順が試される場であり、この地上を去る時まで続く訓練科目であろう。今回は赦しに関しての主要な教えをリストアップする。イースターで神が私たちに下さった赦しのプレゼントを覚えてばかりである。しっかり心に刻んで行きたい。

【新約聖書】

- 1) 主の祈りの中の命令（マタイ6:12）
- 2) 主の祈りの直後、再度の赦しの命令（マタイ6:14-15）
- 3) ペテロの問いに対し、七度を七十倍赦せという命令（マタイ18:21~22）
- 4) 巨額を赦されつつ僅かでも赦せなかった僕の話（マタイ18:23~35）
- 5) 平地の説教／裁かず、罪に定めず、赦せ、という命令（ルカ6:37）
- 6) シモンと罪深い女／多く赦される者は多く愛する（ルカ7:36-50）
- 7) 七度罪を犯しても七度謝罪したなら七度赦すべき（ルカ17:3-4）
- 8) 福音の本質は「罪の赦しを得させる悔い改め」である（ルカ24:47）
- 9) 罪を赦す働きと権威が全ての弟子たち与えられている（ヨハネ20:23）
- 10) 自分で復讐せず、復讐は神に任せ、敵を愛する（ローマ12:19）
- 11) キリストを通して赦されたから互いに赦し合う（エペソ4:32）
- 12) 互いに対して不満が生じて、互いに赦し合う（コロサイ3:13）

【旧約聖書】

- 1) 人を赦せず、怒りに身を任せて悲劇を被った人々：責任転嫁をして神も弟も赦さなかったカイン（創世4）、妹の仇討ちをしたレビとシメオン（創世34）、逆らう民を赦せず怒りに身を任せて岩を二度も打って約束の地に入れなかったモーセ（民20:10~）、敵将アブネルを赦せず卑怯な方法で殺したダビデの將軍ヨアブ（第二サムエル3）、妹タマルを強姦した異母兄を赦せず殺したアブシャロム（第二サムエル13）、アブシャロムを赦さなかったダビデ（第二サムエル14）、父を赦さなかったアブシャロム（第二サムエル15）
- 2) バテ・シェバ事件で赦されたダビデ（第二サムエル11-12、詩篇51）
- 3) 神の赦しの大きさ（詩篇32, 65, 78, 85, 86, イザヤ1:18, 53章, 55章）■